

EMPOWERMENT 2025

一人ひとりの
学びたいがあふれだす未来を
学校とともに作りだす

環境が変わり、先生のかかわり方も変わる。

学校ケースごとに、何を「引き出す」か。

生徒たちの未来をつくりだす先生役割。

EMPOWERMENT

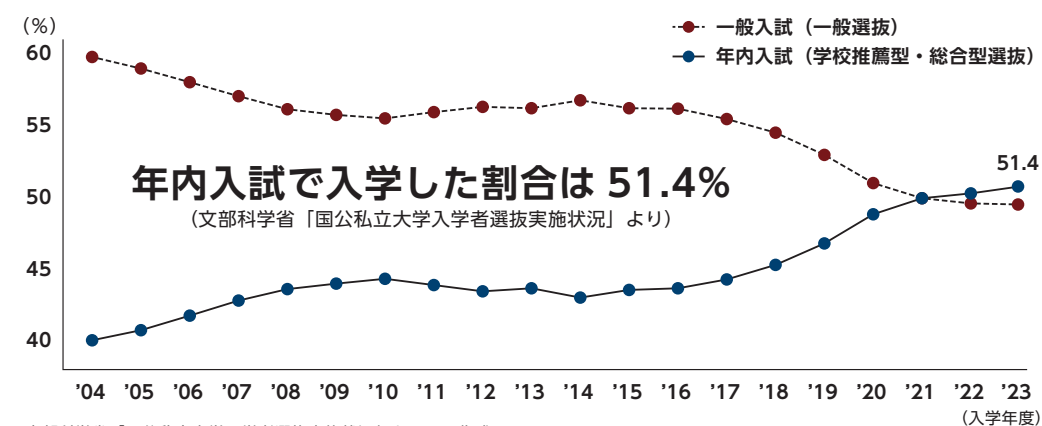
平成・令和以降の教育・生活環境の変化に対して、全国の学校での対応が進んでいます。ベネッセコーポレーションとしても、年内入試の拡大と高校新課程導入(2022年度以降)に直面した先生方から多くの取り組みを教えていただきました。その思いや創意工夫は、既存の校内分掌や指導経験にとられるものではありませんでした。中でも多くお伺いしたのは、一定範囲について情報を『教える・伝える』ことを継続しつつ、生徒の希望進路や自主性を『引き出す』ことを先生方が重視するようになったということ。都道府県を越えての学校事例共有やディスカッションが進む中で、『引き出す』ポイントについても学校ケースごとに具体化してきたのではないのでしょうか。私たちは「一人ひとりの学びたいがあふれだす未来を学校とともにつくりだす」を惜越ながら掲げておりますが、先生方による『引き出す』取り組みの精度を上げることを念頭に、さらなる支援を進めてまいります。

Case 1 選抜性の高い難関大学を一般入試で目指す生徒が多い学校

学力基盤となる「学びに向かう力」を引き出す。

Case 2 国公立大学を一般入試で目指す生徒が多い学校

目先に留まらない「主体的な取り組み」につなぐ。



※文部科学省「国公立大学入学者選抜実施状況」をもとに作成。
※値は「一般選抜、学校推薦型選抜および総合型選抜の入学者の合計」に対する各選抜の入学者の割合。
※2021年度以降は学校推薦型選抜に属していた一部の選抜が「その他の選抜」に変更されたため、集計対象外とした。

Case 3 国公立大学を年内入試で目指す生徒が多い学校

進路選択肢を広げる「マイ・ストーリー」づくり。

Case 4 大学・専門学校・就職など生徒が幅広く希望する学校

前向きな声かけで「自己肯定感」を高め続ける。

Case 5 希望進路実現のための土台を形成したい中高一貫校

志望動機と基礎学力という「土台の形成」を高1までに進める。

先生が持っているものを 教える 伝える

生徒が持っているものを 引き出す

先生がデジタルを使って引き出す。

国による学校1人1台端末施策、そしてコロナ禍は環境を大きく変化させました。パソコン・タブレットなどの使用が日常化しており、生徒の力を引き出すツールとして有力なものとなりました。デジタル技術を中心としたICT(情報通信技術)への期待はますます高まっています。



ベネッセの
学校担当者が
ご提案します。



北海道



東北



関東



首都圏



名古屋



北陸



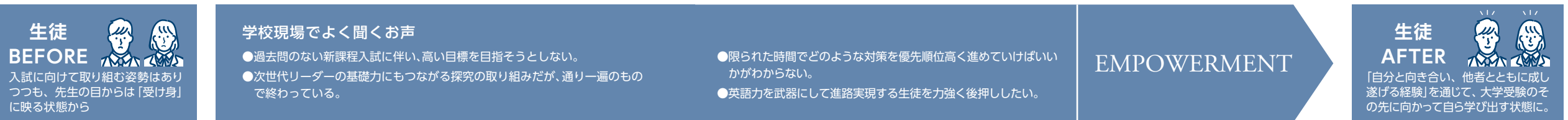
大阪



中四国

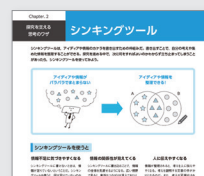


九州



指導の重点は
学力基盤となる「学びに向かう力」を引き出す。

探究を通じた経験や問題発見・解決力を育み、自ら学びだす姿勢につながります。



志望動機の確立、大学での専門分野の学びを見通すと、探究学習や問題発見・解決力育成は必要不可欠です。

探究ナビ

GPS-Academic 中高版

高い目標を達成するための戦略に気づかせます。



学ぶ内容とともに入試形式や配点を自身で把握するところから合格への道筋が立ちます。

マナビジョン

FINE SYSTEM / Compass

新課程入試でも自信を持って解答できるように対応力を高めます。

新課程入試への不安は誰しもが持っているものですが、進研模試への取り組みがそれを緩和します。要求学力の広がりに対応した問題に接し、受験しただけにせず自身の答案を検証すること。これが高い目標の継続につながります。

基本事項の習得と同時に、「主体的に学習に取り組む態度」を獲得します。

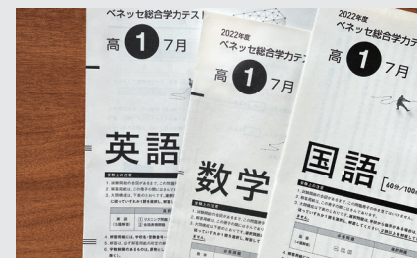
スタディーサポートの学習状況リサーチでは、学習習慣・学習方法・粘り強さ・自己調整の4つの要素で生徒の自己認識状況を測ります。

世界基準での英語力測定で生徒の挑戦を後押しします。

世界基準のCEFRでC1レベルまで測定が可能です。国内の大学から海外の大学まであらゆる進路実現の可能性を引き出します。

※「GTEC」オフィシャルスコアが約780の大学・短期大学に採用されています(2024年度国内外)。オフィシャルスコアは「検定版」[CBTタイプ]のみの発行となります。

指導の重点は
声かけの継続で生徒の背中を押し続ける。



進研模試/ベネッセ総合学力テスト



スタディーサポート

CEFR	スコア	該当問題タイプ
C1	1350 ~ 1400	※学年は活用目安時期
B2	1180 ~ 1349	
B1	930 ~ 1179	
A2	680 ~ 929	
A1	260 ~ 679	
Pre-A1	0 ~ 259	

「GTEC」

デジタルで生徒の未定着単元を解消します。

得意な単元について
難しめの問題をおすすめ

苦手な単元について
易しめの問題をおすすめ

Classiでは配信された課題に解答すると、解答結果に応じてAI(一部教科・分野は除く)が最適な「おすすめ演習」を出題します。

Classi

「情報Ⅰ」の学びをサポートします。

「情報Ⅰ」の定着はデジタル教材「Pスタディ」により進めることが可能です。

Pスタディ

不足技能については技能別英語アプリでトレーニングを促します。

英語4技能育成に対応したトレーニングで不足技能の補完を行うことができます。

GELP (ジェルピー)

一般入試

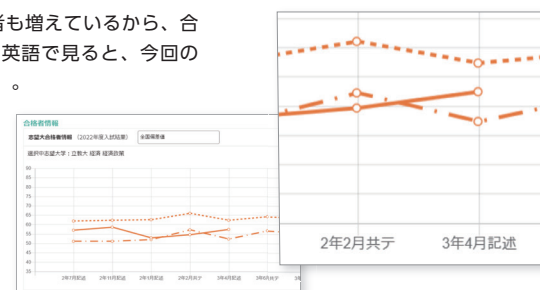
英語入試

より生徒に近いリアルなデータで励ます。

あきらめさせない「合格者下限」表示。

面談時にご参照いただける「Compass」合格者情報には合格者下限の表示があります。ここでの「下限」は合格者下位10%を指します。判定だけではわからない情報で、より生徒に近いリアルな先輩データをもとに「あきらめるべきではない」という感覚を持つことができます。

面談「E判定だけど、今は私大の合格者も増えているから、合格が出る幅も大きいんだ。一番大事な英語で見ると、今回の模試では合格者の下限を超えているよ」。

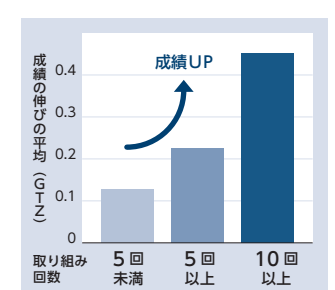


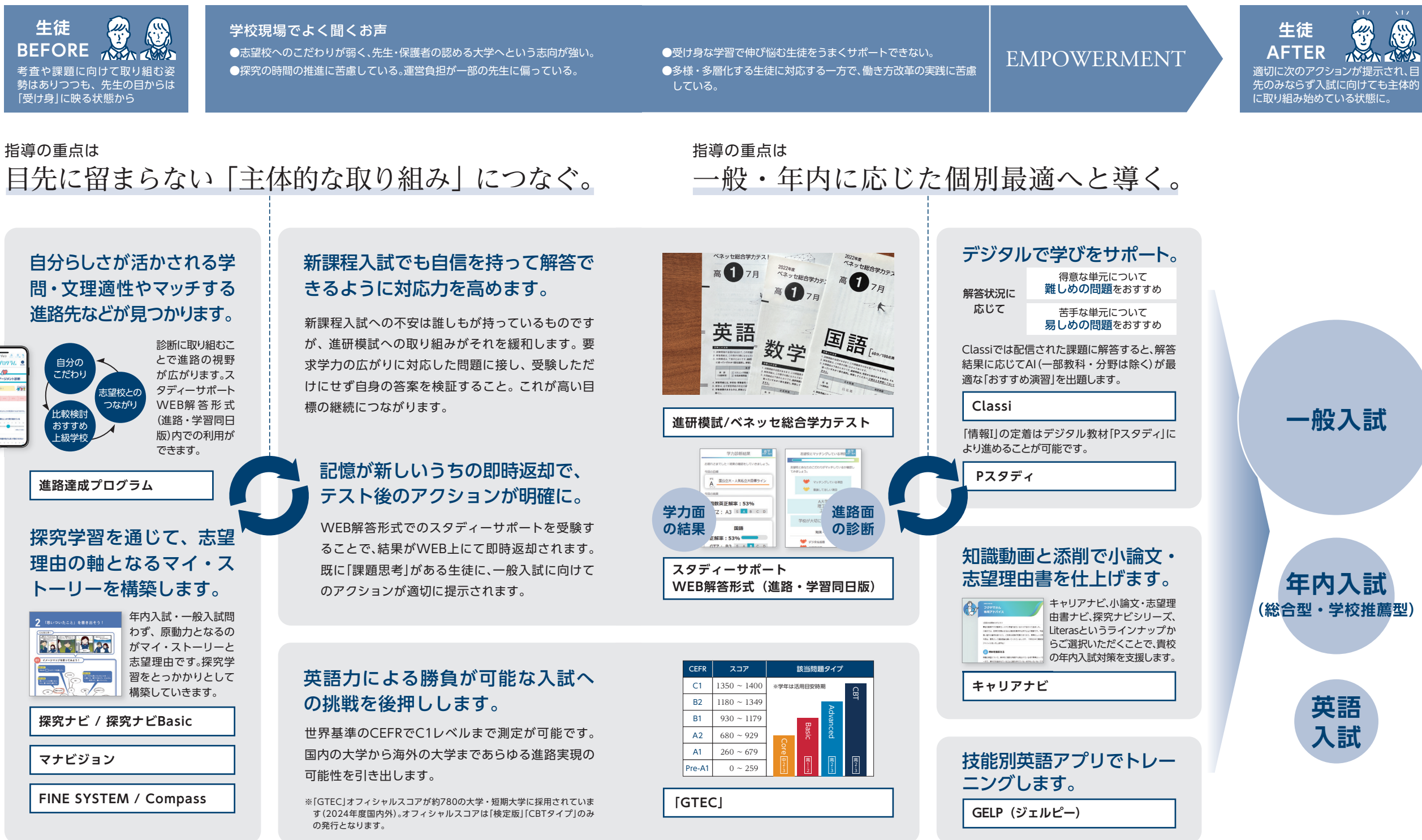
「定着につなげる」までを重視したトレーニングを。

解答状況により出し分けられる単元×難易度別の問題。

ご採用校にてご利用いただける「Classi」の学習トレーニング機能では、AI等による弱点判定によって出し分けられる単元×難易度別の問題で、より細やかな単元定着を実現します。一部教科・分野はAI対応外となります。

※グラフは2022年度スタディーサポート第1回と7月のベネッセ総合学力テストの結果を用いた「Classiチャレンジ」の検証より(生徒506人参加)。
※GTZ(学習到達ゾーン)とは、進研模試の全国偏差値との高い相関から算出した学力指標です。グラフの成績の伸びの単位はGTZの1つ上昇(例「B2→B1」)を1としています。





生徒
BEFORE

拡大した年内入試に対して安易な
進路選択を行う姿勢から

学校現場でよく聞くお声

●学習でのつまずきが多く、わからない部分はリセットされてしまう。
●ある程度の自由さは生徒に提供したいが、進路保証もしたい。授業
負荷は軽減したい。

EMPOWERMENT

生徒
AFTER

自分が活かせる志望先を探索・研究し、「マイ・ストーリー」を伴って進
路を選択している状態に。

指導の重点は
進路選択肢を広げる「マイ・ストーリー」づくりを。

指導の重点は
学習環境担保で生徒の「わからない」を解消。

自分らしさが活かされる学
問・文理適性やマッチする
進路先などが見つかります。

自分の
こだわり

比較検討
おすすめ
上級学校

志望校との
つながり

診断に取り組むこ
とで進路の視野
が広がります。ス
タディーサポート
WEB解 答 形 式
(進路・学習同日版) 内での利用が
できます。

進路達成プログラム

探究学習を通じて、志望
理由の軸となるマイ・ス
トーリーを構築します。

2 「選いついたこと」を振り返ろう！

年内入試・一般入試問
わず、原動力となるの
がマイ・ストーリーと
志望理由です。探究学
習をとっかかりとして
構築していきます。

探究ナビBasic

マナビジョン

FINE SYSTEM / Compass

WEB 解答形式なら「自分と進路先の
マッチング」の表示を即時で。テスト受
験日が「気づきの1日」になります。

スタディーサポートWEB解答形式
(進路・学習同日版)

行動基準や興味関心といった学力以外の価値観による
進路面の診断により、進路選択肢を広げることができ
ます。学力面の結果とともに即時で表示されます。

進路面
の診断

テスト直後の診断
結果を熱心に見て
いる生徒が、全国
の高校で続出して
います。

希望進路への可能性を確実なも
のにするために、目的別テスト
を受験。

スタディーサポートは、「学力(知識・技能の
定着および活用)」と「学習(行動と態度)」の
2つの観点から測定しています。事後には学
力と学習の結果から生徒個別の最適なオン
デマンドワーク&ドリルをご提供します。

英語 知識活用

1日の時間割イメージ

1限 目標設定

2～4 教科学力
限 テスト受験

5限 解答提出、
即時結果
確認

進路

学力

知識動画と添削で小論文・
志望理由書を仕上げます。

キャリアナビ

英語力による勝負が可能な
入試に挑戦させます。

「GTEC」

デジタルで学びをサポート。

得意な単元について
難しめの問題をおすすめ

苦手な単元について
易しめの問題をおすすめ

Classi

「情報I」の定着はデジタル教材「P スタディ」に
より進めることが可能です。

Pスタディ

知識動画と添削で小論文・
志望理由書を仕上げます。

キャリアナビ

英語力による勝負が可能な
入試に挑戦させます。

「GTEC」

一般入試

年内入試
(総合型・学校推薦型)

英語入試

生徒の進路意識を驚くほど前向きにする

WEB解答形式(進路・学習同日版)
ご実施校が増加。

「教科学力試験と進路適性検査を同日に受験(WEBで
解答)して、テスト後に適性診断結果を踏まえた進路ワー
クを行う」という新たな実施パターンの採用校が増えてい
ます(スタディーサポート、基礎力診断テスト対象)。

先生

「WEBを通じての解答ということで、少し不安を感じていました。やってみると生
徒はすぐに慣れていましたので、安心して見守ることができました」
「テスト中に眠そうにする生徒が減り、テスト後に進路の質問する生徒が増えました」

生徒

「結果がすぐわかるから、覚えているうちに振り返りができてうれしい」
「知らなかった強みに気づけてよかった」
「有名な大学しか知らなかったけど、おすすめされた大学も調べてみたい」

各種ベネッセテストとGTZ(学習到達ゾーン)対応表

共通指標の「GTZ」で学力推移を把握できます。

進研模試/ベネッセ総合学力テスト

GTZ

スタディーサポート

多様な入試での進路合格可能
性の確認に最適なテストです。

GTZ

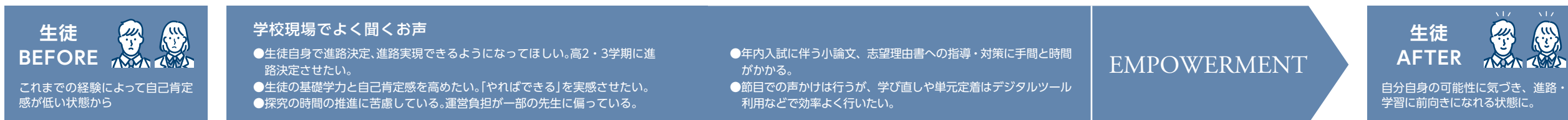
基礎力診断テスト

自己肯定感を高めるために
最適な年間学習プログラム
です。

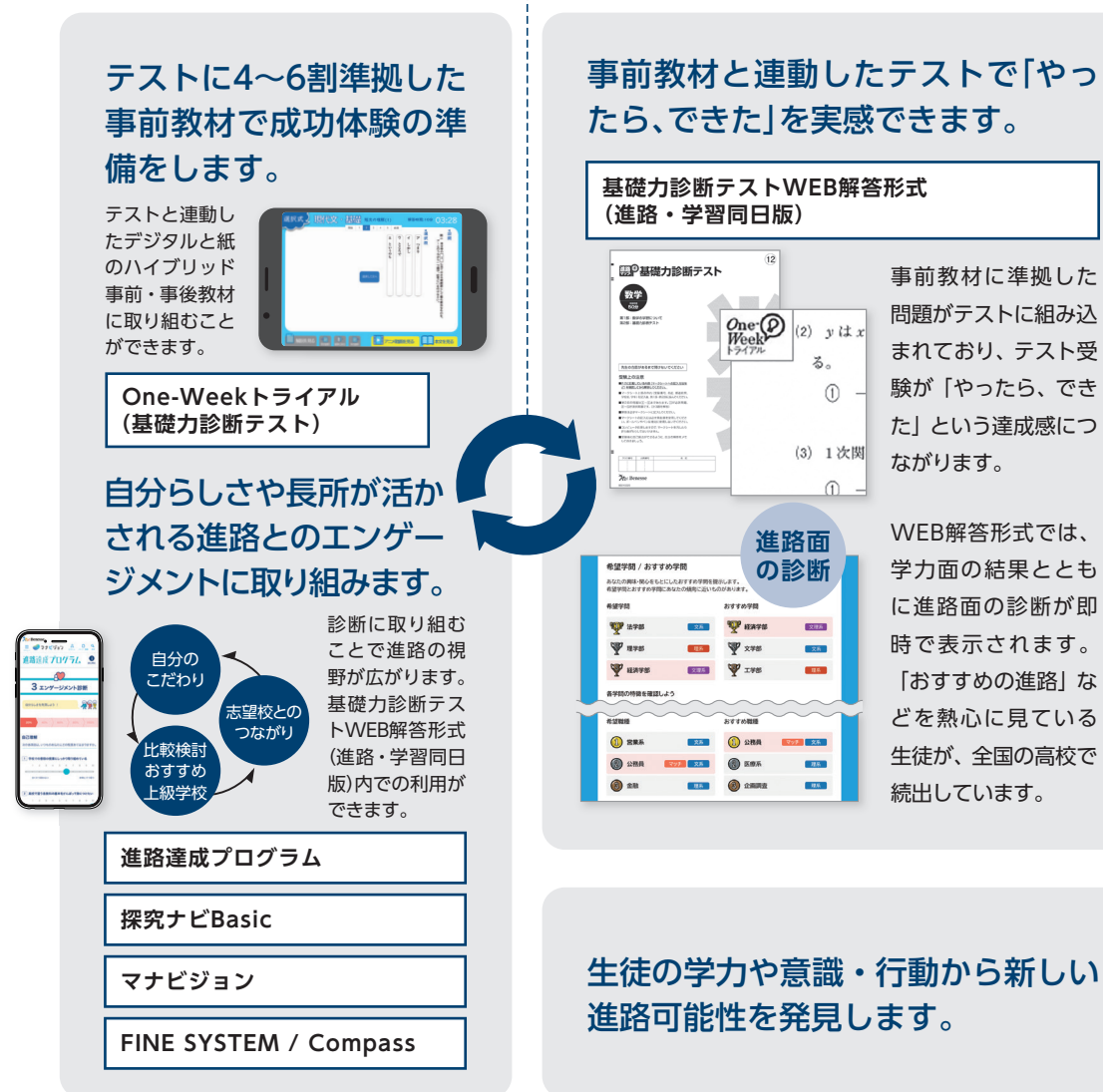
※アセスメントの
難易度は目安です。

学習到達ゾーン(GTZ)	学力の目安
S	複雑な情報を読み取る力が身についており、知識と 情報を活用して発展的な問題を解くことができる。
A・B	文章を細部まで正確に読みとる力が身について おり、与えられた情報をうまく活用して応用的 な問題にも取り組むことができる。
C	教科学習をするうえで、必要な基本知識が身に ついており、その知識を活用して基本的な問題 を解くことができる。
D1・D2	日常生活に必要な語彙力や、基本的な計算力を 身につけている。
D3	義務教育範囲の学習内容が身につけていない。

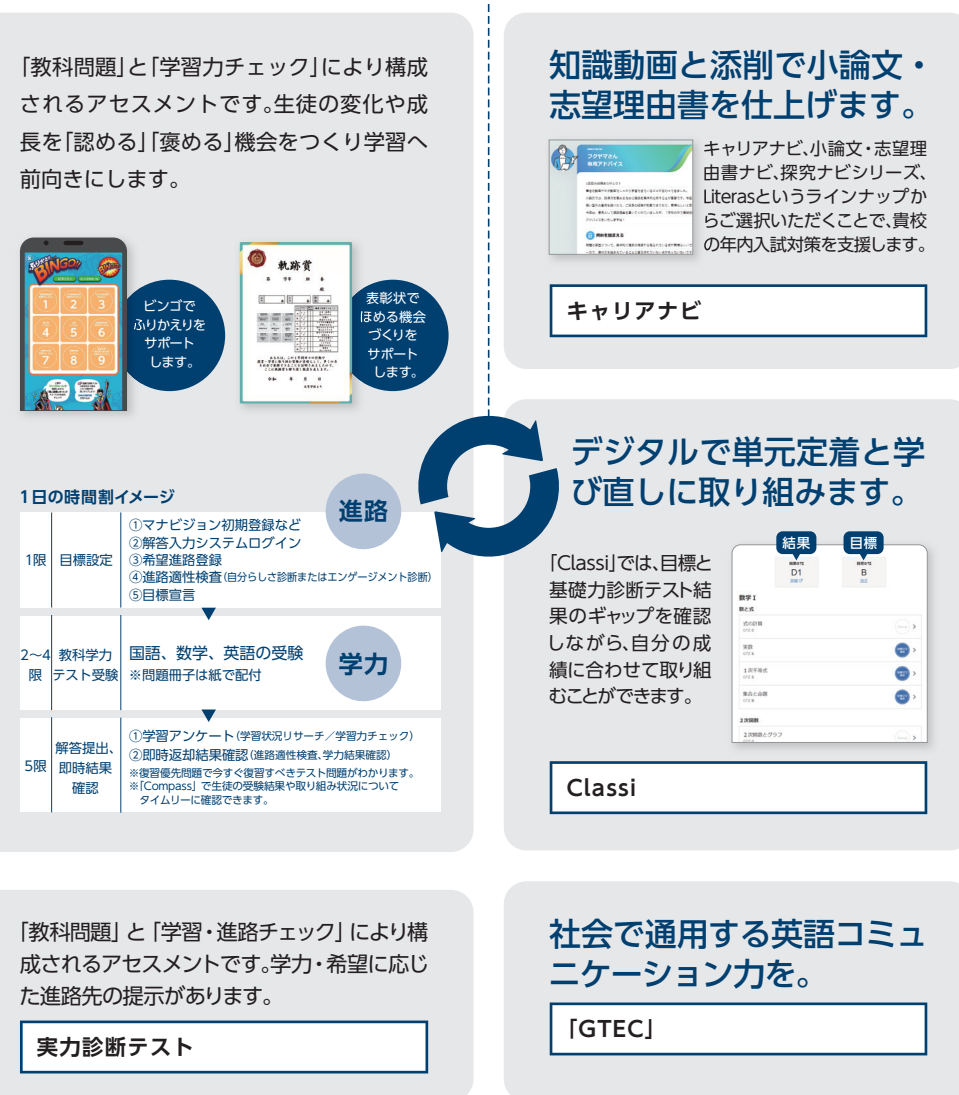
GTZ	進学の見込み	就職・公務員試験の見込み
C1+ C1- C2+ C2- C3+ C3- D1+ D1- D2+ D2- D3+ D3-	4年制大学 学校推薦型選抜 合格がめざせる	一般的な入社試験の ペーパーテストでの 合格がめざせる
	短期大学・専門学校の 合格がめざせる	仕事に取り組むための 最低限の学力が身につけている
	希望に沿った進学が できない可能性が高い	就職後仕事についていけない 可能性が高い



指導の重点は
前向きな声かけで「自己肯定感」を高め続ける。



指導の重点は
義務教育範囲の学び直しから進路対応力育成まで。



案内入試
(総合型・学校推薦型)

専門学校
就職

デジタル支援で
学びの手を
止めさせない。

基礎力診断テストでは、手が止まる・取り組めないという生徒には、デジタルを活用して「やったら、できた」をいつでも体験できるようにします。



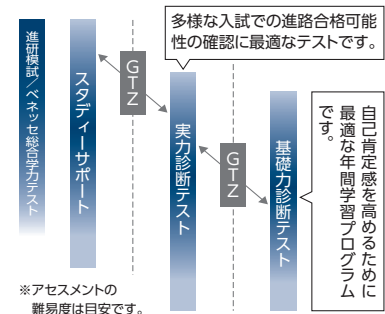
素材文の読解で手が止まる生徒には、素材文を理解するための動画コンテンツ。

難しい問題をあきらめてしまう生徒には、One-Week トライアルの問題に何度も取り組めるデジタルドリル。

もっとトライしたい生徒には、力試しのための類題も用意。

各種ベネッセテストと GTZ（学習到達ゾーン）対応表

共通指標の「GTZ」で学力推移を把握できます。



学習到達ゾーン(GTZ)	学力の目安
S	複雑な情報を読み取る力にあり、知識と情報を利用して発展的な問題を解くことができる。
A・B	文章を細部まで正確に読みとる力が身にあり、与えられた情報をうまく活用して応用的な問題にも取り組むことができる。
C	教科学習をするうえで、必要な基本知識が身にあり、その知識を活用して基本的な問題を解くことができる。
D1・D2	日常生活に必要な語彙力や、基本的な計算力を身に付けている。
D3	義務教育範囲の学習内容が身に付いていない。

GTZ	進学	就職・公務員試験
C1+ C1- C2+ C2- C3+ C3- D1+ D1- D2+ D2- D3+ D3-	4年制大学 学校推薦型選抜 合格がめざせる	一般的な入社試験の ペーパーテストでの 合格がめざせる
	短期大学・専門学校の 合格がめざせる	仕事に取り組むための 最低限の学力が身に付いている
	希望に沿った進学が できない可能性が高い	就職後仕事についていけない 可能性が高い

ケース分けはあくまで例であり、複数ケースにまたがる学校等があるものと考えております。

生徒
BEFORE



中高一貫校の学習ペース・進路選択などに戸惑いがある状態から

学校現場でよく聞くお声

中1・中2

- 生徒が学習量や中高一貫のスピードに戸惑いがち。異なる小学校からの生徒に囲まれる環境においての自己成長も求められる。
- 中学校のスタート時点で基礎をおろそかにせず、努力をすることが肝要。下位層となってしまうと中3以降に挽回が難しい場合がある。

中3・高1

- 入学から入試本番からも遠く、一定割合が「中だるみ」となりやすい。
- 学習習慣維持と国数英3教科基礎学力確立とともに、学習動機につながるよう進路へのこだわり醸成、探究活動などが求められる。

EMPOWERMENT

生徒
AFTER



進路実現につながる志望動機と基礎学力の両方を身につけた高2生に。

指導の重点は
中1・中2生の単元定着を確実に。

指導の重点は
中3・高1生の進路学習、探究を後押し。

中高一貫校の進度と難易で、高校学習の土台となる学力を測定します。



学力推移調査

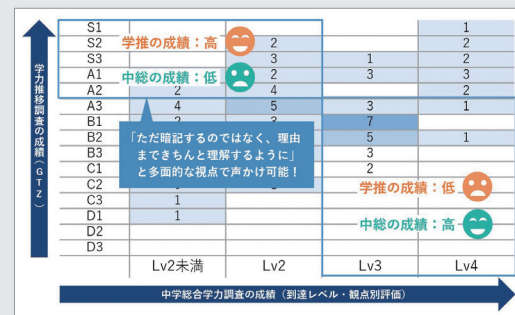
大学入試で難関大以上への合格を目指すまでを視野に入れた出題により、「学力の定着状況」を中心に確認します。



中学総合学力調査

大学入試や実社会にも通じる「考える力」を問い、探究的学びにもつながる出題です。学力推移調査だけではつかめない生徒の新たな強みに気づかせます。(年1回)

クロス分析により多面的な生徒把握。



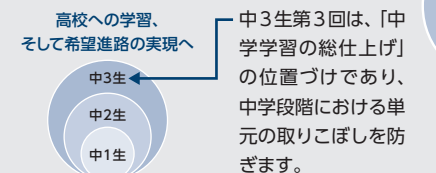
学力推移調査と中学総合学力調査を掛け合わせて分析することで、成績上昇の可能性が高い生徒群など、多面的に生徒の特長を把握できます。(FINE SYSTEM)

試験結果をもとに目標設定し、目標達成に向けた単元学習を支援。



全国でのご活用割合は約7割
(中高一貫校での2023年度「学力推移調査」実績)

中高一貫校の学習進度にあわせた出題範囲を設定している学力推移調査の継続したご受験により、単元の定着状況や生徒の学力／学習習慣の変化の把握にご活用いただいております。



Classi 学習トレーニング

【演習問題をレコメンド】

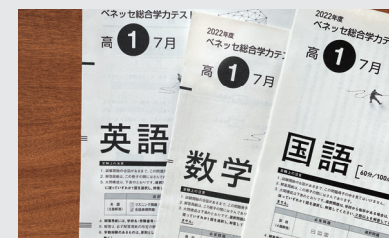
文字式の表し方
 難易度D
 トレーニング完了まであと6問
☒ 正解済みを除く 全6問
 練習問題_類の表し方01
 練習問題_類の表し方02

トレーニング完了

成績・目標にあった演習問題がレコメンドされ、取り組み後に「完了」のスタンプがつけます。
 試験前の事前学習にもご利用できます。

中高6カ年の学力を同じ指標「GTZ」※で測り、高校以降も伸び続ける生徒を育てる。

進研模試／ベネッセ総合学力テストは全国最大規模の母集団ならびに精度の高い評価により、高1より実施されるテストです。受験いただくことで入試対応力を測ります。



進研模試／ベネッセ総合学力テスト

スタディーサポート

スタディーサポートは「学力」と「学習」の両面から生徒の状況を把握しながら、進研模試受験の前提ともなる学力定着をサポートします。

あわせてベネッセテスト結果と連動して具体的な指導を検討できる先生向けツールをご利用ください(高3までご利用できます)。

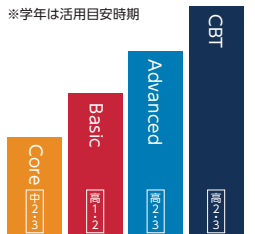
FINE SYSTEM / Compass

高2・高3
進級

「英語が使えた!」という成長実感、成功体験を6か年を通じて醸成していきます。

世界基準での英語力測定で生徒の挑戦を後押しします。CEFRでC1レベルまで測定が可能です。国内の大学から海外の大学まであらゆる進路実現の可能性を引き出します。

「GTEC」

CEFR	スコア	該当問題タイプ
C1	1350 ～ 1400	※学年は活用目安時期 
B2	1180 ～ 1349	
B1	930 ～ 1179	
A2	680 ～ 929	
A1	260 ～ 679	
Pre-A1	0 ～ 259	

学習意欲の維持につながる進路へのこだわりを、体系的な進路学習、探究活動により引き出します。

進路サポート 中高一貫 中3・高1用



進路探究ノート
体系的な進路学習をサポートするワークノート。

※このほか保護者用ガイド、進路マップ、教師用ガイド(朱筆入りガイド、指導案)が含まれます。



学習ガイドADVANCED
中だるみ期を乗り越えるための学習を確認するための冊子。

探究ナビBasic



ブック／実践ノート
直接書き込んでいただける生徒用のテキスト兼ワークブックです。

※このほか教師用ブック、教師用実践ノートが含まれます。



もしもトリップ
課題設定に役立つ観点を広げるカードゲームです。

学習到達ゾーン(GTZ)	ゾーンの位置づけ
S	S1 最難関大レベル
	S2 難関大レベル
	S3 難関大挑戦レベル
A	A1 国公立・中堅私立大レベル
	A2 国公立・中堅私立大挑戦レベル
	A3 4年制大挑戦レベル
B	B1 基礎・基本育成レベル
	B2 基礎・基本育成レベル
	B3 基礎・基本育成レベル
C	C1 基礎・基本育成レベル
	C2 基礎・基本育成レベル
	C3 基礎・基本育成レベル
D	D1 基礎・基本育成レベル
	D2 基礎・基本育成レベル
	D3 基礎・基本育成レベル

※進研模試の全国偏差値との高い相関から算出した「学習到達ゾーン (GTZ)」を学力指標としています。中高6か年の学力を同じ指標で測ることができます。貴校の学力育成目標の基準としてご利用ください。

※「進路サポート 中高一貫 中1・中2用(中高一貫校での学習法習得)」についてもご利用をご検討ください。